

日本工学院専門学校	開講年度	2022年度	科目名	実践課題制作	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	180時間
単位数	6単位	開講時間	月曜1～8時限、水曜5～8時限	授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	白鳥 裕之		実務経験の有無・職種	有・プロダクトデザイナー	
学習目的					
この科目を受講する学生は、実践的な課題として、デザインの分野で重視されるテーマの企画を行い、提案に必要な資料を制作します。、これから経験していく仕事の現場で、役に立つ企画書を実践的な実習から学び、理解し、身に着けるようになる。プロダクトデザインの「商品企画書」に関連する調査分析、コンセプト、デザイン提案をまとめ、必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生がデザインの分野で重視される、CMF、4Rのテーマに取り組むことでデザイン提案をプロセスから学び、調査分析から、コンセプト立案、デザインワーク、プレゼンテーションと問題解決型のデザイン手法で、検証を重ねながら提案します。プロダクトデザイナーの仕事を理解して、社会、環境の問題を考えたサスティナブルなデザイン力を向上させること、デザイナーとして考察をふかめることを目標にしている。					
授業概要	この授業では、講師からの各テーマの解説を受けます、デザインの分野で重視されるCMF、4Rのテーマに取り組み、調査、分析、企画立案の一連の流れを実習を通して学ぶ授業です。講師からアドバイスで学びを深め、学生の「デザイン企画力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「デザイン企画案」を自分自身の実践し、提案できるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、デザイン企画として学生に調査分析からデザイン企画提案の一連の流れを、実習を通して学びを作成します。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	CMFについて課題①		課題説明		
2回	CMFについて課題②		調査		
3回	CMFについて課題③		問題点や解決法の検討		
4回	CMFについて課題④		コンセプト立案とアイディアスケッチ		
5回	CMFについて課題⑤		コンセプト立案とアイディアスケッチ		
6回	CMFについて課題⑥		提案企画書の作成		
7回	CMFについて課題⑦		提案企画書の作成		
8回	4Rについて課題①		課題説明		
9回	4Rについて課題②		調査		
10回	4Rについて課題③		問題点や解決法の検討		
11回	4Rについて課題④		コンセプト立案とアイディアスケッチ		
12回	4Rについて課題⑤		コンセプト立案とアイディアスケッチ		
13回	4Rについて課題⑥		提案企画書の作成		
14回	4Rについて課題⑦		提案企画書の作成		
15回	提案発表		プレゼンボード 講評会。全体のまとめ		